

## ◆ 江東都税事務所長賞 ◆

「健康を守る税金」

江東区立深川第七中学校 3年 菊地 二葉

税の作文と聞いて思い出したことがあります。左腕にあるくっきりした注射の跡。これは小さいころに打った予防接種の跡です。周りの友達はずっかり薄くなって目立たなくなっているのに自分だけはいつまで経ってもくっきりと残っていて、それがとても嫌でした。母にそのことについて文句を言ったことがあります。その時に予防接種は病気にかかった時に重症化しないように免疫力をつけてくれること、世界には受けられなくて病気になり、命を落としている子供がたくさんいること、日本では予防接種は税金で賄われているということを知りました。そういえば小さい頃に何度も予防接種を受けた記憶があり、母に母子手帳を見せてもらおうと今まで受けた予防接種の数に驚きました。なぜこんなに予防接種が必要で、税金で賄われているのだろうと思い、調べてみることにしました。

予防接種には、「定期接種」と「任意接種」の2種類があります。そのうち、定期接種は予防接種法に基づくワクチンで「A類疾病」といわれ、誰もが受けるべき予防接種として義務付けられており、全ての子供が健康を守るためにうけられるように無料で提供されています。また、予防接種を受けることで、私達一人一人だけでなく、社会全体の健康を守ることもできます。もし多くの人が予防接種を受けなければ、病気が広がり、みんなが大変な思いをすることになると思います。このように「個人を守る」と「社会を守る」ことを目的として予防接種があることを知りました。

世界では未だ、予防接種を受けることができないため、防げるはずの病気にかかって命を落とす子供が多くいます。私は、4年前の新型コロナウイルスで日本中が外出を自粛し、感染に怯えた生活を思い出し、これに似た状況がずっと続いているようなものだと思うと、とても胸が痛くなりました。常に命が危険に晒されるのではないかと気にしながら生活を送らなくてはならないのです。そんな中、日本では、私達の家族や地域の人々が納める税金によって予防接種が無料で受けられるため、誰もが平等に健康を守る機会を持つことができます。そう考えると、私の腕に残っている注射の跡は今まで健康に生きてきた証とこれからも健康に生きていくためのお守りだと思い、嫌なものではなくなりました。

税金は、私達の生活を支えるための大切なお金です。さまざまな公共サービスに使われていますが、予防接種のように私達の健康を守るためにも使われているということを知り、税金の重要性を改めて感じました。これからも税金について理解を深め、自分が将来納める税金が社会にどのように役立つのか考えていきたいと思っています。